へ13
2946
131

131
へ13 特
2946
131

天地温凉を離れて萬物を生じ五體温凉を乱して生じ人倫を乱して
身の情を除されば必ず衣服の乱あり
ざるを必ず愚癡の過あり世人衣服の乱のことを恥てこれを
過ぬるものとなす霍乱は湯の乱なりとあらば烏賊烏の
ぬすみとなるべし味噌を乱すは大豆の乱刻刷
が黒牡丹なるもはなはだ小なるべし盤中の白胡麻もはなはだ
小なるを勝とす置炬燵のぬくとさをよく味噌の紙を
蘇陽が風雅阿房宮の紙を嗤ひ東坡一枝
のわらべを初類と擬する子又渠が行状を載せて
首は一面を出さるるのため
蟹をもて人が花見をしてとの形
寛政十二庚申孟陽

曲亭馬琴識

亭
曲

曲亭馬琴作
豊国画